

★食品・医薬だけではなく、電子機器、半導体、データセンターなどでも深刻化する害虫・ネズミのリスクと対策
★「隙間」「照明」「発熱」「空調」が害虫侵入を招く？ ★「異物混入」「設備停止」「配線被害」をどう防ぐのか？
★害虫が嫌う匂い・光・材料忌避材料・忌避塗料・忌避シートの設計と評価、その使用の実態

セミナーNo.608203



防虫・防鼠

技術の種類,

忌避材料の設計, 選び方と使い方, その応用

●日時: 2026年8月7日(金) 10:00~17:00 ●聴講料: 1名につき 66,000円(消費税込み・資料付)
●会場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき60,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 工場の防虫防鼠活動の実際 具体的な事例とツールについて

[10:00~11:00]

(株)フジ環境サービス 営業本部 部長 田辺 堅太郎 氏

1. 工場における有害生物管理の重要性 4.3 隙間埋めによる侵入・発生防止

2. 工場を汚染する有害生物とは 5. 屋外からの侵入虫対策
2.2 4つの汚染経路とその特徴 5.1 ライトトラップの効果的な運用
2.3 工場で問題となる主な有害生物 5.2 出入口の隙間埋め対策
5.3 忌避対策ツールの運用

2. 有害生物の調査 6. 防鼠・防鳥対策
3.1 対象種に合わせた調査方法, デバイス 6.1 防鼠対策 6.2 防鳥対策
3.2 捕獲以外のモニタリングツール

4. 微小な屋内発生虫対策 7. 殺虫剤の運用と安全性
4.1 微小屋内発生虫の問題点 7.1 法的区分と主な有効成分
4.2 専用捕獲機によるコナチャクテ対策 7.2 安全な運用 【質疑応答】

2. 害虫忌避インキの開発
2.1 開発の経緯
2.2 忌避材とは
2.3 害虫忌避試験方法, 結果

3. ムシブロックコーティングインキ(害虫忌避インキ) 【質疑応答】
3.1 使用方法

4. 新たな防虫・防鼠技術 ~AIモニタリングからフェロモンの活用まで~

[14:50~15:50]

環境機器(株) 営業開発部 シニアコンサルタント 菅野 格朗 氏

1. 昨今の現場の課題について
1.1 手出しが難しい場所での問題
1.2 殺虫剤の有効性と利用の難しさ
1.3 トレーサビリティと精度の高い調査の必要性

2. 各技術の詳細と活用方法
2.1 IGR剤の活用 2.2 ムース施工の活用
2.3 フェロモン製品の活用 2.4 AIを用いたモニタリングシステムの活用

3. まとめ(より高い衛生状態をつくりだすために) 【質疑応答】

5. 医薬品・食品工場の防虫構造機能 - 新棟建築時における防虫構造の考慮事項と 稼働開始までの各段階で実施すべき防虫対策 -

[16:00~17:00]

シーアンドエス(株) SEI部門 チーフインストラクター 伊藤 壽康 氏

1. 防虫管理の目的と防虫構造
1.1 昆虫の混入と製品回収 1.2 GMP等の規格における「防虫構造」

2. 新棟建築時における防虫構造の考慮事項
2.1 昆虫の環境指標性 2.2 屋上や外装, 出入口等の防虫構造
2.3 内装や設備, 機器類の防虫構造

3. 稼働開始までの各段階で実施すべき防虫対策
3.1 設計-稼働開始の計画に沿った防虫対策のステップ
3.2 各ステップの目的と内容 【質疑応答】

2. 防虫機能を有する成分とフィルム・シート, 回路基板への応用について

[11:10~13:00]

【元】パナソニック, 【元】関西大学 富岡 敏一 氏

1. 家電製品における害虫被害の実際
1.1 家電製品の害虫被害 1.2 害虫の分類 1.3 ゴキブリの生態

2. 具体的な防虫手段の種類と特徴
2.1 物理的遮蔽と回路発熱 2.2 殺虫と忌避の効果

3. 家電製品の防虫設計のポイント
3.1 忌避材料の種類
3.2 忌避材料の忌避メカニズムと評価方法
3.3 接触型忌避材料の配置技術
3.4 応用事例
1)忌避部材 2)忌避塗料 3)忌避シート 【質疑応答】

3. 害虫忌避の成分を配合した 機能性インキの開発とその応用

[13:40~14:40]

(株)セイコーアドバンス 販売促進部課長 兼
名古屋出張所所長 小林 秀行 氏

1. スクリーン印刷の種類と成分

●申込方法
1. 申込書が届き次第, 請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので, ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

セミナー申込書

「防虫防鼠」セミナー No.608203 8/7

・申込書に必要事項をご記入の上, FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
・ホームページからも申込できます。 <https://www.gijutu.co.jp/>

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・ショートメッセージ(SMS, 携帯電話)・e-mail]			
個人情報の利用目的 ・セミナーの受付, 事務処理, アフターサービスのため ・今後の新商品, 新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催, 運営のため講師へもお知らせいたします			



申込専用FAX 03-5436-7745

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等, 状況により中止させて頂く場合がございます。
4. 定員になり次第, 申込みは締切となります。